

〈Hリフォーム〉

H-REFORM

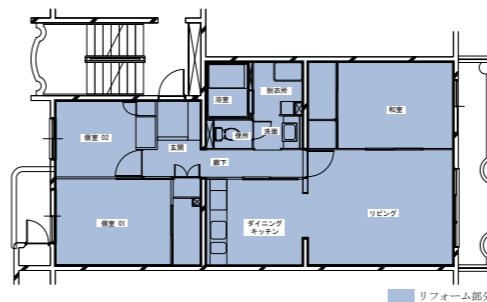
所在地：神奈川県横須賀市

床面積：74.72㎡

建築用途：集合住宅

主体構造：PCRC

リフォーム前プラン



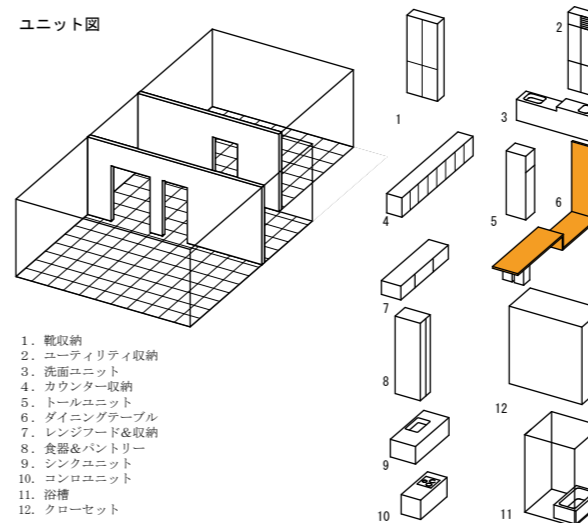
リフォーム部分

リフォーム後プラン

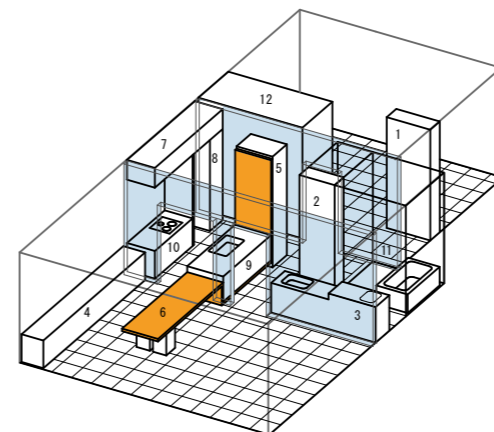


床暖房部

ユニット図



1. 靴収納
2. ユーティリティ収納
3. 洗面ユニット
4. カウンター収納
5. トールユニット
6. ダイニングテーブル
7. レンジフード&収納
8. 食器&パントリー
9. シンクユニット
10. コソユニット
11. 浴槽
12. クローゼット



□ユニットによる空間構成

住個内の空間を建築による壁で仕切り、構成するのではなく収納ユニットを必要な部分に配置し、各ユニットの間をガラスの壁や収納同様の収まりの引き戸を配置し空間を構成しています。住個内を一つの大きな空間と捉え、その内部要素としてユニットを効果的に配置することで、空間をより広く感じれるように設計しています。

□視線の操作

躯体の動かすことのできない壁を利用し、ダイニングテーブルから続くシンクユニットが壁を貫き浮いているように見せています。同様に照明用スチールパイプも躯体の壁を貫通しているかのように見せることにより、今まで躯体の壁によって分断されていた空間を接続し一体感のある空間としています。また、キッチン廻りに配置したガラスの壁面が視線の行き止まり感を無くし、今まで暗かったキッチン部分がリビング・ダイニングと一体となり明るく気持ちの良い空間へと変化しています。

□素材

海にも近く、南北に開口があるこの住居においては、1年を通して十分な通風が望めること、クライアントが周囲の環境を生かして健康的に生活したいという希望から、壁面・天井には珪藻土を採用しています。断熱性能を高めるだけでなく、調湿機能のある珪藻土を使用することは、北側個室の結露に対しても効果的と判断しました。足触りの良いコルクの床は、床の上でも気持ちよく過ごすことができ、冬は床暖房と組み合わせることにより家全体が暖かくなり、常に快適な生活を送ることが出来るよう設計しています。住個内の外形部分に当たる、天井・壁を珪藻土、床をコルクといった素材感のある物で統一し、その中に白い家具やガラス、青い壁など、外形と内部要素で素材とテクスチャーを変化させることにより空間全体の構成を認識しやすくすると共に、暖かみのある素材で包まれた空間を作り出しています。

